


 発信 No.2022-7
 2022年4月28日
 学校法人 大正大学

第九回すがも鴨台花まつり・種子地蔵開眼式 開催！！

一令和4年5月14日（土）—

大正大学（学長：高橋秀裕、所在地：東京都豊島区）は、5月14日（土）から20日（金）に『第九回すがも鴨台花まつり』を開催します。

「すがも鴨台花まつり」は毎年、大正大学構内や周辺の地域を四季折々の花で飾り、街並みに彩りを添えている行事です。今年度は例年以上に花の数を増やし、本学のさざえ堂（正式名称：すがも鴨台観音堂）や南門広場等で展開いたします。『すがも』がかつて「種子屋通り」（※1）として賑わっていたことにもちなみ、お釈迦様の生誕をお祝いする「花まつり」として、花をきっかけとした街づくりに取り組んでいます。

また、本学では全学的に「種子屋街道としての巣鴨」の歴史や文化の認知復活、「伝統野菜」を通した交流や教育、観光資源としての活用に取り組んでおり、社会・地域貢献に関する科目「サービス ラーニング I-D」（※2）のプロジェクトとしても活動しています。その一環として南門広場に「種子地蔵」を建立しました。種子地蔵のお披露目として午前10時30分より開眼式も開催されます。

当日、南門広場内の東屋において対面によるすがも鴨台観音堂御朱印の浄書も同時開催。学生が教職員と協力し、企画・立案したオリジナルの御朱印を使用し、御朱印帳に手書きをさせていただきます。

今後も本学では、地域の方々と協働で伝統と改革を育む新しい地域活性の形を模索していきます。報道関係者の方々のご取材をお待ちしております。



すがも鴨台花まつりポスター



種子地蔵開眼式ポスター

【本件のポイント】

- ① “天台宗・真言宗豊山派・真言宗智山派・浄土宗の設立4宗派及び時宗の仏教学部学生による合同特別法要”を実施
- ② 種子屋街道の記憶を再生する取り組みを通じて、地域アイデンティティやプライドの醸成、地域の魅力度向上に貢献
- ③ 巣鴨に根差し、地域と共に歩む地学協働によるひとづくり・まちづくりを実現



(※1) 種子屋通り…本学の位置する巣鴨の地は、江戸時代から戦前までの間、旧中山道を巣鴨から北上した所から滝野川三軒家（現：北区滝野川六丁目）の間が「種子屋通り」と呼ばれるほどたくさんの種苗問屋や販売店が立ち並ぶ街だった歴史があります。「滝野川ゴボウ」や「滝野川ニンジン」など地域の名を冠した多くの伝統野菜の品種がありましたが、時代の移り変わりの中で種苗店は減少し、種子屋街道としての歴史はわすれられつつあります。

(※2) 「サービス ラーニング I -D」…観光庁「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」事業や（公社）農林水産・食品産業技術振興協会「種苗資源の保護に係る取組み支援事業」などの関連事業も活用し、学生と教職員が、学内の屋上や建物裏などのデッドスペースを利用した「キャンパス農園」や、伝統野菜を『育て、食べる』ことを通した巣鴨の地域コミュニティーを育む活動、種子屋街道普及動画の配信などの活動を実践しています。

◆大正大学

大正大学は、設立四宗派の天台宗・真言宗豊山派・真言宗智山派・浄土宗および時宗が協働して運営する大学です。その協働の精神を支えているのが、大正15年（1926）の創立時に本学が掲げた、「智慧と慈悲の実践」という建学の理念です。建学の理念のもとに〈慈悲・自灯明・中道・共生〉という仏教精神に根ざした教育ビジョン「4つの人となる」を掲げて教育研究の活動を展開しています。また、令和2年度文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」に本学が推進する「新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業」が採択されました。公式HP：<https://www.tais.ac.jp/>

令和2年度 文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」採択校

「新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業」

■取材に関するお問い合わせ

大正大学 広報課

電話：03-5394-3025（直通）FAX：03-5394-3046

E-mail：kouhou@mail.tais.ac.jp